

税金って何？

12/4・5・6

村内3小学校で「税金教室」



▲草野小学校



▲白石小学校



▲飯館小学校

村内3小学校の6年生を対象に「税金教室」が行われ、子どもたちが税金の使いみちや納税の必要性などを学びました。

これは、子どもたちに税金について理解を深めてもらおうと、各学校からの要望に応じて税務署と市町村が協力して行っている教室です。

この日は、村の税務係職員が講師を務め、税金の使いみちや必要性を説明したり、税金がなくなってしまった世界を描いたアニメビデオを上映しました。



▲1億円と同じ紙束を持ち上げる児童たち

教室の最後には1億円の重さ体験も行われ、職員が用意した1億円と同じ重さの紙束を児童一人ひとりが持ち上げ、その量と重さに歓声をあげていました。

教室後、児童たちは「改めて税金は大切だと思った」、「税金が身近なところに使われていることが分かった」、「自分も大人になったら、きちんと税金を払いたい」などと感想を話していました。

ご寄付ありがとうございます (12月20日現在)

○社会福祉施設等整備基金

▶ 林 英滋さん(白石)から金 100,000円

○いいたてっ子未来基金

▶ 林 英滋さん(白石)から金 100,000円

○飯館村社会福祉協議会

▶ 長谷川 侑廣さん(伊丹沢)から金100,000円

▶ 坂本 徳さん(草野)から金 50,000円

▶ ヤクルト親交会(福島市)から金 10,000円

○いいたて福祉会

▶ 庄司 勝さん(前田・八和木)から金50,000円

震災対策一口標語

天災を 忘れてならぬ
家族のために

火災・救急情報

11月の出動 火災 0件 (1月からの累計 7件)
救急25件 (1月からの累計251件)

年末年始の休みがあるため、いつもより早い時期に発行する広報1月号▽その原稿の締め切りや取材に追いまわされて、いつもの月より短く感じる、そしていつの間にか過ぎていく広報担当の師走▽そんな年末の慌ただしい広報作業がようやく終わりに近づいた今、気になり始めたのが年賀状▽広報原稿の締め切りは守れども(?)、今年も年賀状の締め切りは：▽この場を借りてとういわけでもありませんが「皆さん、新年明けましておめでとうございます。今年も『広報いいたて』をよろしく願います」

めづがき

第五三二号 平成二十年一月五日発行(毎月五日発行) ●発行/飯館村 ●編集/総務課広報委員会 千九六〇・一八九一 福島県相馬郡飯館村伊丹沢字伊丹沢五八〇番地 電話二四四・四二・一六三

印刷(無料)印刷